

|              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |      |      |       |        |                                                  |
|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------|-------|--------|--------------------------------------------------|
| 登録コード        | UAI20600                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 開講年度 | 2026 |       |        |                                                  |
| 授業題目         | 労働経済学特講                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |      |      |       | 担当教員   | 三上 亮                                             |
|              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |      |      |       | 副担当    |                                                  |
| 単位数          | 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 講義期間 | 後期   | 曜日・時限 | 火曜・2時限 |                                                  |
|              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |      | 授業形態 | 講義    |        |                                                  |
| 信大コンピテンシー    | 非該当                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |      |      |       |        |                                                  |
| (1)授業の達成目標   | 授業で得られる「学位授与の方針」                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |      |      |       | ⇔      | 【授業の達成目標】                                        |
|              | 2 6 UAカリ・総人社・経済学， 2 5 UAカリ・総人社・経済学， 2 4 UAカリ・総人社・経済学                                                                                                                                                                                                                                                                                          |      |      |       |        |                                                  |
|              | 【経済学】経済学分野の高度で先端的な知識と技能を有する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |      |      |       | ⇔      | 労働市場の機能や問題、労働政策についての応用的な理論を説明できるようになる。           |
|              | 【経済学】専門知識に基づく論理的な思考の下に、地域・社会・経済について、必要な量的・質的データを採用する能力及び、採取したデータを用いた実証分析や社会調査を行う能力を有する。その分析能力を、地域・社会・経済の課題解決に多面的に展開できる応用力を有する。                                                                                                                                                                                                                |      |      |       | ⇔      | 実際のデータを用いて理論的仮説や政策効果を検証する方法について、その詳細を説明できるようになる。 |
| (2)授業の概要     | 本講義では、労働市場での様々な現象を説明する際に必要となる、数理モデルとその応用について学ぶ。労働時間や賃金など、働くことに関する現象は、労働力を取り引する労働市場で決まります。労働経済学はミクロ経済学の応用分野の1つであり、労働市場に関するさまざまな問題について分析する学問です。労働者はどのように就業するか否かを決めるのか、労働時間はどのように決まるのか、なぜ賃金格差が生まれるのか等、理論的背景を学ぶ。その上で、理論モデルから得られた仮説を検証するために必要な、実証分析の方法について学ぶ。<br>遠隔授業を実施する際は、Zoomを使用したリアルタイムオンライン授業とする。ZoomミーティングのURLは、eALPSまたはメールにて事前にお知らせする。     |      |      |       |        |                                                  |
| (3)授業計画      | 第 1 回：インストラクション (労働経済学とは何か?)<br>第 2 回：労働供給<br>第 3 回：労働供給モデルの応用<br>第 4 回：労働需要<br>第 5 回：労働需要モデルの応用<br>第 6 回：労働市場の均衡<br>第 7 回：労働市場の均衡と実証分析（1）<br>第 8 回：労働市場の均衡と実証分析（2）<br>第 9 回：補償賃金格差<br>第 10 回：補償賃金格差と実証分析<br>第 11 回：教育と労働市場<br>第 12 回：労働市場における男女差<br>第 13 回：サーチ・モデル<br>第 14 回：まとめ<br>期末試験<br><br>レポート課題等の出題時期や提出期限等については初回又はeALPSにおいて適宜周知します。 |      |      |       |        |                                                  |
| (4)成績評価の方法   | 課題(小テスト含む)40%、期末試験60%で評価する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |      |      |       |        |                                                  |
| (5)成績評価の基準   | 講義中に示した例題あるいは課題と同レベルの問題が解ければ「標準的である」，応用問題が解ければ「やや上にある」，やや難しい応用問題が解ければ「かなり上にある」，例題からは難しい応用問題が解ければ「卓越 している」。                                                                                                                                                                                                                                    |      |      |       |        |                                                  |
| (6)事前事後学習の内容 | 講義に使用する資料を事前にダウンロードして持参し、資料を元に毎回予 習・復習を行うこと(第 1 回から第 15 回の講義ごとにそれぞれ60分程度)。 また、必要に応じて講義中に紹介した参考文献等を適宜参照すること。                                                                                                                                                                                                                                   |      |      |       |        |                                                  |
| (7)履修上の注意    | 講義中「ミクロ経済学」、「マクロ経済学」および「計量経済学」、「統計学」の初歩的な内容について触れる。講義の中でも説明を行うが、理解に不安のある者は適宜参考資料を参照し、各自自習すること。単位取得のためには、毎回の講義内容を理解することが必要である。                                                                                                                                                                                                                 |      |      |       |        |                                                  |
| (8)質問,相談への対応 | 授業中の質問を歓迎する。個別の質問がある場合は、事前にメールでアポイントメントを取り、オフィスアワー(木曜日14:40~16:10)に研究室に来ること。また、アポイントメントを取る際に相談内容を教えて頂ければ、より良い対応ができます。                                                                                                                                                                                                                         |      |      |       |        |                                                  |
| 【教科書】        | 特になし                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |      |      |       |        |                                                  |
| 【参考書】        | 授業中に適宜指示する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |      |      |       |        |                                                  |